

児童虐待予防の 新たな課題と可能性について

～「関係性の貧困」時代に、つながり続ける支援を～

12/6 木

14:00～17:30 (13:30～開場)

AP品川 アネックス「Q(キュー)」

東京都品川区港区高輪 3-23-17 品川センタービルディング地下1階

参加費
無料

目的

児童虐待防止推進月間である11月、LINE 株式会社と連携し、児童虐待防止の試みとして、LINE アカウントによる子どもや保護者からの相談受付を実施しました。企業が児童虐待防止に積極的に取り組むこと、それが IT を活用したコミュニケーション分野のものであることは、虐待防止や子ども・子育て支援もひとつの変化の時期に来ているとはいえませんか。

「経済的貧困」と同様に「関係性の貧困」も、虐待のリスクの一因です。

様々なコミュニケーションツールを活用しているはずの子育て世代が「関係性の貧困」による「子育ての孤立化」にあえぎ、ときにその矛先が幼い子どもに向かいます。

だからこそ、現代の子育て世代のコミュニケーションの特徴を捉え、それに即した支援策に取り組むことが、いま求められています。つながってほしい相手は、つながりを求めている。「見えない相手」と、どうつながるか。

妊娠期からの切れ目のない子育て支援に向けた施策に行政が取り組む中、本勉強会では、児童虐待防止施策の現状と課題、地域小児医療の現場での虐待予防の取り組み等を伺うことで、現代の子育て世帯への関わり方や、乳幼児を含む「児童虐待」の予防に対して理解を深めるとともに、対面ではない支援方法を考えてみましょう。

演者のテーマとプロフィール



「法と政策から見る、児童虐待防止施策の現状と最新課題」
胡内敦司 氏 (松戸市総合政策部 兼子ども部 兼教育委員会学校教育部 審議監)

平成 11 年、厚生労働省 (旧厚生省) に入省。社会保障関係予算、障害福祉施策、児童福祉施策等に従事し、平成 27 年 4 月に松戸市子ども部参事監に着任。平成 28 年 1 月に発足された「松戸市子どもの未来応援検討チーム」のチームリーダーを担当。平成 28 年 4 月からは、松戸市教育委員会学校教育部参事監を兼務。平成 29 年 4 月から現職。「広げ、こども食堂の輪！」全国ツアー実行委員会に相談役として参加。



「“糸のつながり”が母親のセーフティネットになる。医療現場における児童虐待予防について」
川村和久 氏 (かわむらこどもクリニック院長)

仙台市小児科医会会長 / 日本外来小児科学会理事 / 仙台市医師会理事 / 仙台市いじめ問題対策連絡協議会会長 / 仙台市学校保健協議会会長

2011 年「子ども若者育成・子育て支援功労者」内閣府特命担当大臣表彰

直近でも、厚労省主催「子ども虐待防止推進全国フォーラム in みやぎ」において、「医学的見地から見た児童虐待」のパネリストを務めた。



「東京都児童虐待 LINE 相談と他の LINE 相談事業」
村井宗明 氏 (LINE 株式会社公共政策室副室長)

元文部科学大臣政務官。2003 年、衆議院議員選挙に当選 (3 期)。
2011 年、東日本大震災の年に史上最年少で衆議院災害対策特別委員長。その後、ヤフー株式会社を経て、LINE 株式会社勤務。現在は、東京都児童虐待 LINE 相談の事業を担当。
情報処理技術者 (FE)、IT パスポート 930 点、AI (DeepLearnig 協会 G 検定)、マイナンバー 1 級。

タイムスケジュール

13:30～	開場
14:00～14:10	主催より挨拶、主旨説明
14:10～14:55	胡内敦司 氏 講演
14:55～15:40	川村和久 氏 講演
15:40～15:50	休憩
15:50～16:20	村井宗明 氏 講演
16:20～16:30	参加者同士、感想のシェア
16:30～17:00	全体質疑応答
17:00～17:30	名刺交換会

申し込み・問い合わせ

特定非営利活動法人きずなメール・プロジェクト

担当：増田、田邊

電話：03-6317-5575 (10:00～16:00)

inquiry@kizunamail.com

※申し込みは事前申込 (先着順) としております。

※会場の設営の都合上、11月30日(金)までに、
必要事項 (氏名、所属 (役職)、当日連絡用電話番号
E-mail、参加人数) を左記の連絡先にご連絡ください。

※当日は名刺 2 枚をご持参ください。



特定非営利活動法人
きずなメール・
プロジェクト